

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

本年度より港区市岡元町「はらっぱ舎」にて保育事業を開始した。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産 定額法
(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地		70,000,000		70,000,000
建物 (はらっぱ舎A I A I)	31,861,344		3,540,149	28,321,195
建物 (はらっぱ舎本園)		78,874,928	4,394,739	74,480,189
基本財産引当預金	5,000,000			5,000,000
小 計	36,861,344	148,874,928	7,934,888	177,801,384
特定資産				
新事業所積立資産	9,000,000	900		9,000,900
はらっぱ事業積立資産	8,846,330		102	8,846,228
小 計	17,846,330	900	102	17,847,128
合 計	54,707,674	148,875,828	7,934,990	195,648,512

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	70,000,000	(27,308,000)	(42,692,000)	()
建物 (はらっぱ舎A I A I)	28,321,195	(12,000,000)	(16,321,195)	()
建物 (はらっぱ舎本園)	74,480,189	()	()	()
基本財産引当預金	5,000,000	()	(5,000,000)	()
小 計	177,801,384	(39,308,000)	(64,013,195)	()
特定資産				
新事業所積立資産	9,000,900	()	(9,000,900)	()
はらっぱ事業積立資産	8,846,228	(8,846,228)	()	()
小 計	17,847,128	(8,846,228)	(9,000,900)	()
合 計	195,648,512	(48,154,228)	(73,014,095)	()

6. 担保に供している資産

担保に供している資産は次のとおりである。

土地 大阪市港区市岡元町
建物 同上

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	114,276,421	11,475,037	102,801,384
合 計	114,276,421	11,475,037	102,801,384

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	3,202,400		3,202,400
合 計	3,202,400		3,202,400

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし。			
合 計			

11. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
該当なし。						
合 計						

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金 該当なし。				
基 金 計				
代替基金 該当なし。			—	
代替基金計			—	
合 計				

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
はらっぱ舎A I A Iの建物の減価償却費	1,500,000
はらっぱ事業積立資産取崩分	102
合 計	1,500,102

14. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。
(取引条件及び取引条件の決定方針等)

該当なし。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末		当期末	
現金預金勘定	31,638,262円	現金預金勘定	42,324,892円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	— 円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	— 円
現金及び現金同等物	31,638,262円	現金及び現金同等物	42,324,892円

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。

前期末	当期末
該当なし。	

16. 重要な後発事象

該当なし。